

(参考1)「既存共同住宅団地の再生に関する提案募集」募集要項(概要)

高度成長期を中心に整備された共同住宅団地は現在再生期を迎えつつあり、従来中心的手法であった建替えだけでなく、改修や増築等を含めた総合的な再生手法を導入し、ストックの有効活用も図りつつ再生を進めていく必要があります。

このため、既存共同住宅団地の再生に係る計画手法、事業主体・事業スキーム、ハード技術、経営・管理手法について、以下のとおり、広く提案を募集するとともに、選定された提案の活用を推進します。

1. 提案募集実施主体

財団法人ベターリビング(国土交通省及び独立行政法人都市再生機構の委託により実施)
(協力)独立行政法人建築研究所、マンション再生協議会、公共住宅事業者等連絡協議会

2. 提案の課題

- (1) 提案対象：昭和40～50年代前半頃に整備された共同住宅団地で、実在する団地またはモデル団地等
- (2) 提案領域：計画手法、事業主体・事業スキーム、ハード技術または経営・管理手法(複数の領域に及ぶ提案も可)
- (3) 提案単位：団地単位、住棟単位、住戸単位またはそれぞれの組合せ
- (4) 提案の視点：ストックの有効活用による環境調和型の再生
コミュニティの維持・活性化
安心・安全な居住環境の実現
多様な資金・技術・事業主体の活用

3. 提案応募者

個人、企業等(管理組合、NPO法人、まちづくり協議会、地方公共団体、公的住宅供給主体等を含む。)個人又は企業等のグループ

4. 提案応募手続き

「既存共同住宅団地の再生に関する提案募集」募集要項に基づき応募すること。

5. スケジュール

- (1) 説明会：平成17年10月17日(月)13:30～(併せて講演会開催)
- (2) 応募登録申込み期間：平成17年10月3日(月)～平成17年11月15日(火)
- (3) 応募図書提出期間：平成17年12月1日(木)～平成18年1月10日(火)

6. 提案の選定等

- ・ 本提案募集の趣旨に基づき、既存共同住宅団地の再生を促進し、課題解決に資すると認められる提案を選定する。(平成18年3月下旬予定)また、特に実用的・実効的な提案と認められるものを「優秀提案」として表彰する場合がある。なお、提案の選定数に制限は設けない。
- ・ 提案の選定は、学識経験者等からなる「共同住宅団地の再生に関する提案募集選定・活用推進委員会」が行う。

「共同住宅団地の再生に関する提案募集選定・活用推進委員会」

委員長	巽 和夫	京都大学名誉教授
委員	浅見 真二	(独)建築研究所住宅・都市研究グループ長
"	浅見 泰司	東京大学教授
"	小林 計代	東京都都市整備局都営住宅経営部長
"	小林 秀樹	千葉大学教授
"	高田 光雄	京都大学大学院教授
"	砺波 匡	国土技術政策総合研究所住宅計画研究室長
"	那珂 正	(財)ベターリビング理事長
"	深尾 精一	首都大学東京教授
委託者側委員	高井 憲司	国土交通省住宅局住宅生産課長
"	井上 俊之	国土交通省住宅局市街地建築課長
"	網野 正観	(独)都市再生機構住宅経営部次長

7. 選定提案の活用促進

選定提案を「選定提案集」としてとりまとめ、ホームページ上での公開、関係事業者等への配布等により広報・活用促進に努める。また、選定提案を活用し再生事業の事業化を進めている団地を、再生モデル団地として選定し事業化を推進する。

- * 委託者は、選定提案の広報、活用促進、研究開発に努めるものとする。また、協力者に対し、広報・活用推進等について協力を求めるものとする。

「既存共同住宅団地の再生に関する提案募集」に係る説明会の開催について

- 開催日時：平成17年10月17日(月) 13:30～14:30
- 主催：財団法人ベターリビング
共催：マンション再生協議会、住まい・まちづくり活動推進協議会
- 場所：住宅金融公庫すまい・るホール(定員250名)

併せて、団地再生に関する講演会を開催 14:30～16:00

講師 小林秀樹 千葉大学教授

演題 「団地再生に関する動向について(仮題)」

講師 佐藤健正 株式会社市浦ハウジング & プランニング 代表取締役社長

演題 「団地再生についての海外における取り組み(仮題)」

●提案募集の事務手続き等、説明会等に関するお問い合わせ先

(事務局) 財団法人ベターリビング新事業推進二部 日野 康彦、大泉 誠司

TEL 03-5211-0695 FAX 03-5211-3169

- * 「既存共同住宅団地の再生に関する提案募集」募集要項等は、次のホームページでご覧になれます。(ホームページアドレス) <http://www.blhp.org/>